

BUNKAZAI 情報

平成 21 年
11 月 3 日
創刊号

発行：熊谷市立江南文化財センター

はじめに

熊谷市立江南文化財センターは、「つくる、しる、ふれる」を基本コンセプトにして、市内の文化遺産として伝えられた「文化財」の収集、保管、調査及び研究を行うとともに、これらの文化財の活用を図り、多くの文化財資源の公開も行っています。

今回、創刊しました「BUNKAZAI 情報」は、そんな活動を紹介する情報誌です。これを通して、文化財保護の大切さを多くの皆様にお伝えすることができたら幸いです。さあ、文化財という新たな旅へ一緒に出かけましょう。



熊谷市立江南文化財センター

TOPIC

市政宅配講座 本物の土器にわくわく！ドキドキ！！

風薫る秋の 10 月 16 日（金）、市立荒川児童クラブの依頼で、市政宅配講座「わくわく土器ドキ石器講座」を荒川児童館で開講しました。職員が向向き小学 1 年生～3 年生の児童 11 名に、熊谷の歴史を体感してもらいました。

講座では、熊谷の旧石器時代から平安時代までの歴史を、発掘調査により出土した土器や石器などや、絵を見せながらお話をしました。子供たちは本物の土器を見るのは初めて、「これはなんだろう？」と興味津々で出土品を並べたテーブルにカブリつき、とても楽しそうでした。おまけに、本物の縄文土器、石器、埴輪、瓦を手にとって見ることができ、満足そうでした。「うわー、これなに？ 瓦ってすごく重い！ なんかに土のおいがするねー！」と大はしゃぎでした。実際の出土品に触れ、少しは熊谷の歴史がわかったかなと思います。この中から将来の考古学者がでたらいいなと思った講座でした。

社会教育課では、本物の出土品を持参して、熊谷の古代を体感できる講座を開講します。ぜひ、興味がありましたら、お問い合わせください。お待ちしております。（吉野）



星溪園で俳句を一俳句入門講座一



市指定文化財の名勝・星溪園（鎌倉町）において、10 月から 11 月にかけて計 6 回の「俳句入門講座」が開催されています。受講者の皆様は、熊谷市俳句連盟会長の伊佐山春愁先生のご指導を受けながら、俳句の基礎を学び、実際に句会を行うなど充実した時間を過ごしています。美しい風景を前にして、多くの名句が生み出されることでしょう。



会場である星溪園は、熊谷市の産業分野において大きな功績を残した竹井滄久（たんじょ）によって約 140 年前に作られたものです。回遊式庭園の中心に位置する「玉の池」や数奇屋風の格調高い三棟の建物は、来場者に静寂の時間を与えてくれます。（鯨井）

市内遺跡発掘情報

西別府遺跡「熊谷にも発見！古代幡羅郡役所の施設」



5月から6月にかけて、西別府で深谷市から広がる幡羅郡家遺跡の確認調査を実施しました。西別府には、西別府遺跡のほか、西別府廃寺・西別府祭祀遺跡の3遺跡で構成される西別府遺跡群という重要遺跡が所存します。

今回の調査は、平成16年・20年に次ぐ3回目の調査ですが、土壁を伴う二重の溝に区画された空間に、平安時代（9世紀後半～10世紀後半）の3間×5間以上の長大な南北棟の掘立柱建物跡や小型の南北棟の掘立柱建物跡の存在が確認され、この場所が幡羅郡家（郡役所）を構成する一つの施設の可能性が考えられるという大きな成果がありました。

なお、この成果については、6月27日に地元住民を対象に現地説明会を開催しました。（吉野）



現地説明会の様子（6月27日）

前中西遺跡「弥生時代の竪穴住居跡多数発見！」

市内上之の前中西遺跡では、平成8年度から区画整理事業に伴い発掘調査が行われており、今年度も6月から10月にかけて発掘調査を実施しました。

遺跡の主体となる弥生時代は、これまでの調査により遺跡のほぼ中央を蛇行して流れる衣川という河川を境に北側に竪穴住居跡などの集落跡、南側に方形周溝墓などのお墓が広がっていることが徐々に明らかになってきています。



弥生時代の竪穴住居跡から出土した完形の壺

今年度調査した地点は衣川の北側にあり、弥生時代中期末から後期初頭（約1,900～2,000年前）の竪穴住居跡15軒や溝跡、土坑などが見つかり、これらの遺構からは大量の土器や石器が見つかりました。

前中西遺跡における弥生時代の竪穴住居跡は、過去の調査分も含めるとおよそ50軒になることから、前中西遺跡の弥生時代集落跡は大規模なものであったことが想定され、今回の調査地点付近が集落跡の中心であったと思われます。（松田）



連載 埋蔵文化財の保護活動

第1章 試掘調査・範囲確認調査

熊谷市内では、年間1,100件を超える開発・建築があります。一方で、市内には約350遺跡（埋蔵文化財包蔵地）を確認しています。開発予定地が遺跡の場合には、埋蔵文化財を保護するための対策が必要になります。まず、文化財保護法に基づく届出等が必要になり、開発内容を確認します。そして必要がある場合に、遺跡の有無・深さ等を見るために「試掘調査」を実施します。

平成20年度は110件の試掘調査を実施しました。試掘調査は1m幅の溝を重機で遺跡が確認できる深さまで掘ります。この結果をもとに、発掘調査が必要か判断しますが、工事内容が遺跡に影響のある掘削でなければ、遺跡の上でも開発行為は可能です。埋蔵文化財の保護は、施主・工事施工者・設計士・不動産業者の方々や市民の皆さんのご理解・ご協力をいただいで成り立っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。（蔵持）

文化財センター事業報告

特別展・速報展

「わがまち熊谷遺跡めぐり」テーマ展—円山遺跡・円山古墳群—



熊谷市箕輪地域は、荒川を望む台地上に多くの遺跡が分布していましたが、土探りや工場進出などで昭和60年ころまでに、ほとんど消滅しています。この円山地内にあった遺跡からは、弥生時代から古墳時代の墓をはじめ古代の住居跡が発掘調査されました。

古墳には切り石積石室があり、堀からは矢の盛具である靱(ゆぎ)、扇状の飾りである騎(さしば)、帽子などの通輪が見つかり、竈穴住居跡からは甕や碗などの器とともに、「有」文字の烙印が出土しました。

当時の烙印は牧場等の施設で馬牛に使用したと考えられていますが、実際の発見はたいへん珍しいものです。一昨年度に錆止めの保存修理を行い、公開を始めました。

11月末まで文化財センターにて展示しています。(新井)



「有」文字の鉄製烙印

あなたも古代人

毎年恒例の夏休み企画「あなたも古代人」を、7月下旬から8月中旬にかけて計12回開催したところ、347人の参加をいただきました。このイベントは、古代人さながらの、勾玉(まがたま)づくりや火おこしの体験、土器や石器に触れるなどの機会を提供したものです。各日満員状態で、



活気溢れる体験イベントとなりました。勾玉を作る時の子どもたちの表情は真剣そのものでした。そして、完成した勾玉の首飾りを掛けて笑顔はとても素敵でした。特別参加者として、日本に留学中のアフガニスタン考古学研究所に在籍する二人の研究者も、勾玉づくりを体験し、自ら作った完成品の輝きを見て感動していました。(山下)



活気溢れる体験イベントとなりました。勾玉を作る時の子どもたちの表情は真剣そのものでした。そして、完成した勾玉の首飾りを掛けて笑顔はとても素敵でした。特別参加者として、日本に留学中のアフガニスタン考古学研究所に在籍する二人の研究者も、勾玉づくりを体験し、自ら作った完成品の輝きを見て感動していました。(山下)

市指定文化財確認調査

文化財は、右の表に示した有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物などの種別があります(他に文化的景観・伝統的建造物群・埋蔵文化財・保存技術)。これらの文化財の中で、特に重要なものについては、行政(国・県・市町村)が指定や選定を行い、指定文化財として保護の対象としています。

熊谷市は2回の合併を経て、指定する文化財の数が合計250に上ります。これは埼玉県下においても極めて多い数です。

今年6月から、市指定文化財の確認調査を実施しています。これは、指定文化財の管理状況を知る上で必要不可欠な調査です。第一次調査として、各文化財の所有者に向けて調査票を郵送し、文化財の現状と所在についての確認を行いました。現在は、第二次調査として、返送いただいた調査票に基づき、所有者への訪問調査や管理者への聞き取り調査を行っています。指定数が多いことから、今後数年間の調査期間を予定しています。(山下)

熊谷市指定文化財(国・県指定を除く)

種別	種類	指定数
有形文化財	建造物	7
	絵画	50
	工芸品	15
	彫刻	16
	書跡・典籍・古文書	44
	考古資料	14
	歴史資料	8
無形文化財		1
民俗文化財	有形民俗文化財	28
	無形民俗文化財	20
記念物	史跡	32
	名勝	5
	天然記念物	10
	旧跡	0
合計		250

文化財コラム 古代との遭遇・第1話



「骨に気を付けて、もう少し回りの土を取って行って。ゆっくりね」という調査員の指示にうなずくと、彼女は再び真剣に作業に掛かりました。2時間後、再びの歓声と共に径4mm、厚さ3mmで中央に1.5mmの孔が穿けられたブルーのガラス小玉の全貌が現れました。孔は上下を向いていました。ブルーのガラスは、わずか径4mmのものでしたが、それは鮮やかで黄茶色化した骨との間に見事なコントラストを見せ、見るものの目を強烈に引き付けずにはおかないものでした。

ては、胸の中央にこのような美しい小玉を飾って葬られた人は、この方形周溝墓群の中で、どのような地位の人だったのでしょうか。謎は深まるばかりです。(つづく) (寺社下)

「ワー見て、きれい!!!」1オクターブ高い声が、静かな整理所内に響き渡りました。彼女は、東別府の一本木前遺跡(いっぽんぎまえいせき)の古墳時代前期方形周溝墓の埋葬施設から出土した人骨に付いたままの土を少しずつ濡らしながら、竹串とピンセットで除去するという、気の遠くなるような作業をしていたのです。驚いた全員がそこに集まって覗き込むと、土の中から直径1mmほどの青色をしたガラス製の物体が、仰向けに葬られた死者の胸骨の中央に、その一部をのぞかせていたのです。(写真矢印)

文化財センターイベント情報(問合せは文化財センターまで)

県民の日はあなたも古代人	星溪園でお茶会	第2回地域伝統芸能今昔物語
日時: 11月14日(土) 午前の部 午前10時~12時 午後の部 午後2時~4時 場所: 江南文化財センター	日時: 11月14日(土) 午前10時~午後3時 場所: 星溪園(鎌倉町)	日時: 11月29日(日) 午後0時30分(開場) 午後1時~4時30分 場所: 江南総合文化会館「ピピア」ホール
内容: まが玉をつくろう。 土器・石器にさわってみよう。 火おこし体験など	内容: 市指定の名勝でお茶会を体験することが出来ます。 (駐車場が狭いので、公共交通機関をご利用ください。)	内容: 市指定無形民俗文化財と芸能の共演 (出演: 棒術、池上獅子舞、板井屋台囃子、華曲、沖縄舞踊など)
材料費: 1人250円	体験無料	入場無料

編集後記

文化財保護の仕事は多岐に渡り、多くの内容を含んでいます。全てを紹介することは難しいですが、文化財センターと皆様との架け橋となれるよう、「BUNKAZAI 情報」の刊行を続けていきたいと思っています。よろしくお願いたします。(山下)

発行: 平成21年11月3日(文化の日)
熊谷市立江南文化財センター
(熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係)

〒360-0107 熊谷市千代329番地
電話 048-536-5062 FAX 048-536-4575

メール c-bunkazai@city.kumagaya.lg.jp

ホームページ「熊谷市の文化財」<http://www.kumagaya-bunkazai.jp/>

: 市内文化財情報、埋蔵文化財の取扱いについて、「BUNKAZAI 情報」のカラー版などを豊富に掲載

